

- 五、醫師給料(一人十圓)
- 六、看護婦給料(二人二圓)
- 七、小使給料(一人一圓五十錢)
- 八、消耗品

六、三〇〇圓
 延人員 六三〇人
 三、七八〇圓
 延人員 一、八九〇人
 九四五圓
 延人員 六三〇人
 六、三〇〇圓
 一ヶ所一日十圓

一、備品費

種別	内	譯	數量	單價	金額
豫防衣			一五二枚	六・〇〇〇	九二二・〇〇〇
解卵器			一個	四五〇・〇〇〇	四五〇・〇〇〇
檢温器			一打	二〇〇・〇〇〇	二八〇・〇〇〇
試驗管			四個	一・五〇〇	六・〇〇〇
白金耳			一〇	七・〇〇〇	七〇・〇〇〇
白金耳柄			六	二・〇〇〇	一二・〇〇〇
ビベット			三〇	一・〇〇〇	三〇・〇〇〇
コルベント			三三五	二・八〇	九三・八〇〇
注射器			五〇〇	三・五〇〇	一七五・〇〇〇
噴霧器			大中小二二	五・五〇〇	一二一・〇〇〇
フォルマリン消毒器			四	二〇・〇〇〇	八〇・〇〇〇

化學天秤			一	二八〇・〇〇〇	二八〇・〇〇〇
上皿天秤			一	二二・〇〇〇	二二・〇〇〇
ホールビベット			一〇四	一・三〇〇	一三五・二〇〇
メスコルペン			二〇	三・〇八〇	六一・六〇〇
メスシリダ			一六	二・二七五	三六・四〇〇
液量器			九六	一・〇二五	九尺・四〇〇
マエルコルペン			一、〇四〇	二・一七五	二二六・二〇〇
ビベット			二五〇	三・三〇〇	八〇・〇〇〇
鋼網			八〇	二・〇〇〇	一六・〇〇〇
欽			二六	二・〇〇〇	五二・〇〇〇
ビュレット			八〇	六・四〇〇	五一二・〇〇〇
硝子製蒸發皿			一五〇	二・一〇〇	三一・五〇〇
坩堝			一〇〇	五・五〇〇	五五〇・〇〇〇
バクナ			二〇	一・二〇〇	二四・〇〇〇
分液漏斗			一七〇	一・〇〇〇	一七〇・〇〇〇
デシケータ			一〇	三五〇・〇〇	三五〇・〇〇〇
噴水			二〇	二・〇〇〇	四〇・〇〇〇
冷却器			三〇	二・五〇〇	七五〇・〇〇〇
試藥瓶			三三六	一・五〇	四八・九〇〇
重湯煎			五	七・〇〇〇	三五・〇〇〇

探 酌 裝 置	二	二〇・〇〇〇	四〇・〇〇〇
メスピベット	一五	一・八〇〇	二七・〇〇〇
探 酌 瓶	一〇〇	三三五	三三・五〇〇
硝子製瓶(チリンテル)	六	三・〇〇〇	一八・〇〇〇
乳 脂 計	一五	二・五〇〇	三七・五〇〇
血清注射器	四	一一・〇〇〇	四四・〇〇〇
免 保 定 器	一	一五・〇〇〇	一五・〇〇〇
解 剖 器	一	三五・〇〇〇	三五・〇〇〇
ピンセット	一五	五〇〇	七・五〇〇
メ	一五	一・五〇〇	二二・五〇〇
剪 刀	一〇	一・五〇〇	一五・〇〇〇
金屬製消毒板	五	四・五〇〇	二二・五〇〇
血清注射針	一三〇	一・五〇	一九・五〇〇
ゴム手袋	一〇	二・三〇〇	二三・〇〇〇
硝子製汚物容器	二	九・〇〇〇	一八・〇〇〇
注射器用箱	三	一〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇
金屬製注射器	一〇	二・五〇〇	二五・〇〇〇
鎖	二〇〇	六〇〇	一二〇・〇〇〇
犬 繫 留 材 料	二〇	二〇・〇〇〇	四〇〇・〇〇〇
犬 運 搬 車	三	八〇・〇〇〇	二四〇・〇〇〇

三四

計

五、五一、〇〇〇

一、消耗品費

種 別 内 容	數 量	單 價 百人ニ付	金 額
チフス注射液	七〇、〇〇〇	五〇〇	三五、〇〇〇
保菌調査試験費	二〇、〇〇〇	五〇	一、〇〇〇
飲料水細菌學的検査費	一二、〇〇〇	五〇	六〇〇
注射針	六五〇	一・〇〇〇	六五〇
採便器	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇
水炭	二二〇	二・〇〇〇	四四〇
硝子管	一、〇〇〇	五〇	五〇
石炭	一〇〇	五〇	五〇
昇 汞	三〇	二・三〇〇	六九
クレンゾール石鹼液	一九〇	五〇〇	九五
純 石 炭 酸	六	三五〇	二・一〇〇
デシ	二〇〇	五〇〇	一〇〇
グリセリン	三〇	二〇〇	六〇
純グリセリン	五	二・八〇〇	一四
メルク亞硫酸曹達	一〇	一二・〇〇〇	一二〇

三五

メルク	葡萄糖	二	六・三〇〇	一二・六〇〇
メチーレン	ブラウ	一〇	一・五〇〇	一五・〇〇〇
フオルマリン	管	二四〇	六五〇	一五六・〇〇〇
試験	管	七、五〇〇	三〇	二二五・〇〇〇
シヤ	レ	五、五〇〇	七〇	三八五・〇〇〇
アル	コ	七五〇	八〇〇	六〇〇・〇〇〇
カ	メ	一〇〇	六五〇	六五・〇〇〇
昇	汞	五〇	八〇〇	四〇・〇〇〇
エ	テ	二〇〇	七八〇	一五六・〇〇〇
氷	錯	二〇	六四〇	一二・八〇〇
ガ	ゼ	四八〇	三五〇〇	一六八・〇〇〇
脱	脂	九〇	八〇〇	七二・〇〇〇
沃	加	一本	二・〇〇〇	一二・〇〇〇
蒸	餾	一	一・〇〇〇	一一・〇〇〇
タ	オ	二〇打	二・四〇〇	四八・〇〇〇
石	鹼	三〇	一・八〇〇	五四・〇〇〇
青	梅	二	五・〇〇〇	一〇・〇〇〇
瀘	過	二〇〇	一五〇	三〇・〇〇〇
牛	肉	三	一〇・〇〇〇	三〇・〇〇〇
ゲ	ラ	一〇	一・五〇〇	一五・〇〇〇

硫酸	五〇本	四〇〇	二〇・〇〇〇
重曹	五〇	二〇〇	一〇・〇〇〇
動物飼料	二、〇〇〇	二七〇	五四〇・〇〇〇
藥殺用品	三〇〇	一五〇	四五・〇〇〇
沃度丁	一、〇〇〇	五〇	五〇・〇〇〇
ホール	一〇〇	一二〇	一二・〇〇〇
オブ	三〇〇	二五	七・五〇〇
デツ	一、〇〇〇	三五	三五・〇〇〇
試験用	三〇	二・〇〇〇	六〇・〇〇〇
モル	五〇	一・二〇〇	六〇・〇〇〇
計			九、六九九・〇〇〇

一、印刷費

稀別	内	譯	數	單	價	金
宣傳	ボスタ		一三、九〇〇枚	六〇		八三四・〇〇〇
宣傳	ビラ		一、〇〇、〇〇〇	五		五〇〇・〇〇〇
細菌	検査報告用紙		二〇、〇〇〇	千枚ニ付 六七五		一三五・〇〇〇
水質	試験票		一〇、〇〇〇	千枚ニ付 六五〇		六五・〇〇〇
豫防	注射注意書		五、〇〇〇	百枚ニ付 四〇〇		二〇〇・〇〇〇

計 力 下 一、〇〇、〇〇〇 千枚ニ付 八〇 一、八一四、〇〇〇 三八

大禮施設費衛生費豫算内譯

科 目	金 額	内 容	大 阪 府
大禮施設費	二、二七五圓		
衛生費	二、二七五		
應 費	六三六	一般應費 九〇圓	
内國旅費	三一九	特種應費 五四六圓	
雜給及雜費		醫師一人、一人月額二〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓	
		職員二人一人月額一〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓	
		衛生課長事務打合ノ爲上京旅費 一五九圓	
		雜 給 八〇〇圓	
		醫師一人一人月二〇〇圓ノ四ヶ月分 四〇〇圓	
		雇 員 給 人員二人一人月五〇圓ノ四ヶ月分 一、二〇圓	
		慰 勞 金	

一、消耗品

種 別	内 譯	數 量	單 價	金 額
酒		二三〇磅	七五〇	一七二・五〇〇
石 炭		一八〇"	七〇〇	一二六・〇〇〇
精 酸				

種 別	内 譯	數 量	單 價	金 額
脫 脂 綿		一五疋	一・七〇〇	二五・五〇〇
ガ ー ゼ		一〇"	二・二〇〇	二二・〇〇〇
諸 用 紙		延人員二〇〇	平均一・〇〇〇	二〇〇・〇〇〇
計				五四六・〇〇〇

御大禮施設費衛生費豫算内譯

科 目	金 額	内 容	神 奈 川 縣
大禮施設費	二、五三三圓		
衛生費	二、五三三		
應 費	五一六	一般應費 一二〇圓	
内國旅費	二四六	特種應費 三九六圓	
雜給及雜費	一、七六〇	醫師一人、藥劑師一人一人月額二〇圓ノ四ヶ月分 一六〇圓	
		職員二人一人月額一〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓	
		衛生課長事務打合ノ爲上京旅費 六圓	
		雜 給 一、二〇〇圓	
		醫師一人一人月二〇〇圓ノ四ヶ月分 八〇〇圓	
		藥劑師一人一人月一〇〇圓ノ四ヶ月分 四〇〇圓	
		雇 員 給 人員二人一人月五〇圓ノ四ヶ月分 四〇〇圓	
		慰 勞 金 一六〇圓	

一、消耗品

種 別	内 譯	數 量	單 價	金 額
三九				

種別	数量	単價	金額
酒精	一五〇磅	七五〇	一一二・五〇〇
炭酸綿	一八〇"	七〇〇	一二六・〇〇〇
脂肪	一五疋	一・七〇〇	二五・五〇〇
紙	一〇"	二・二〇〇	二二・〇〇〇
延人員	二一〇	平均一・〇〇〇	一一〇・〇〇〇
計			三九六・〇〇〇

大禮施設費衛生費豫算内譯

科目	金額	内訳
大禮施設費	二、三〇五圓	兵庫縣
衛生費	二、三〇五	兵庫縣
應費	六六五	兵庫縣
内國旅費	三三〇	兵庫縣
雜給及雜費	一、三二〇	兵庫縣

一般應費
 特種應費
 醫師一人一人月額二〇圓ノ四ヶ月分 九〇圓
 雇員二人一人月額一〇圓ノ四ヶ月分 五七五圓
 衛生課長事務打合ノ爲上京旅費 八〇圓
 雜給 一六〇圓
 醫師一人一人月二〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓
 雇員一人一人月五〇圓ノ四ヶ月分 四〇〇圓
 慰勞金 一二〇圓

一、消耗品

種別	数量	単價	金額
酒精	二二〇磅	七五〇	一七二・五〇〇
炭酸綿	二〇〇"	七〇〇	一四〇・〇〇〇
脂肪	一五疋	一・七〇〇	二五・五〇〇
紙	三〇本	六〇〇	一五・〇〇〇
延人員	二〇〇	平均一・〇〇〇	二〇〇・〇〇〇
計			五七五・〇〇〇

大禮施設費衛生費豫算内譯

科目	金額	内訳
大禮施設費	三、二九〇圓	奈良縣
衛生費	三、二九〇	奈良縣
應費	八四二	奈良縣
内國旅費	三九二	奈良縣
雜給及雜費	二、〇五六	奈良縣

一般應費
 特種應費
 救護所設置ニ要スル初年度調辦費 一五〇圓
 救護班ニ要スル消耗品 五七二圓
 醫師一人、藥劑師一人一人月額二〇圓ノ四ヶ月分 九〇圓
 雇員二人一人月額一〇圓ノ四ヶ月分 五七五圓
 衛生課長事務打合ノ爲上京旅費 八〇圓
 雜給 一五二圓
 醫師一人一人月二〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓

救護所ニ要スル經費内譯

一、救護所設置數	七ヶ所	藥劑師二人一月一〇〇圓ノ四ヶ月分	八〇〇圓
二、同上設置日數	三日	歌醫一人一月一〇〇圓ノ四ヶ月分	四〇〇圓
三、同上延數	二ヶ所	臨時囑託醫延二人一人一〇圓	二〇〇圓
四、初度調辨費(一ヶ所三〇圓)	二〇圓	人員五人一月五〇圓ノ四ヶ月分	一、〇〇〇圓
五、醫師給料(二人十四)	二二〇圓	糖人料	
六、看護婦給料(二人二圓)	二二六圓	小使一人一日給一圓ノ二〇日分	二〇圓
七、小使給料(二人一圓五十錢)	三三圓	同(救護班ニ屬スルモノ)延二人一人一四五十錢	一五二圓
八、消耗品	二二〇圓	看護婦(救護班ニ屬スルモノ)延六三人一人二圓	一二六圓
計	七八八圓	人夫延一五〇人一人二圓	三〇〇圓
		慰勞金	五五二圓
		附費延三四〇人一人三十五錢	一一九圓
		舟車馬備貸 自働車備上一二臺一臺五〇圓	六〇〇圓

一、消耗品

種別	數量	單價	金額
酒精	二二〇磅	七五〇	一七二・五〇〇
石炭酸	二〇〇"	七〇〇	一四〇・〇〇〇
脫脂綿	一五疋	一・七〇〇	二五・〇〇〇
ガゼ	一〇"	二・二〇〇	二二・〇〇〇
諸用紙	延人員 二〇〇	平均 一・〇〇〇	二〇〇・〇〇〇
計			五六〇・〇〇〇

大禮施設費衛生費豫算内譯

科目	金額	内訳
大禮施設費	四、七八二圓	一般應費 一八〇圓
衛生費	四、七八二圓	特種應費 五六〇圓
應費	九九〇	救護所設置ニ要スル初度調辨費 一五〇圓
内國旅費	四六七	救護班ニ要スル消耗品 一〇〇圓
雜給及雜費	三、三二五	醫師一人藥劑師一人歌醫一人一月額二〇圓ノ四ヶ月分 二四〇圓
		雇員二人一月額一〇圓ノ四ヶ月分 八〇圓
		衛生課長事務打合ノ爲上京旅費 一四七圓
		雜給 一、七〇〇圓
		醫師一人一月二〇〇圓ノ四ヶ月分 八〇〇圓
		計 四五

救護所ニ要スル經費内譯

一、救護所設置數	五ヶ所	藥劑師一人一月一〇〇圓ノ四ヶ月分	四〇〇圓
二、同上設置日數	二日	秩醫一人一月一〇〇圓ノ四ヶ月分	四〇〇圓
三、同上延數	一〇ヶ所	臨時囑託醫延一〇人一人一〇圓	一〇〇圓
四、初度調辨費(一ヶ所三〇圓)	一五〇圓	人員三人一月五〇圓ノ四ヶ月分	四〇〇圓
五、醫師給料(一人十圓)	一〇〇圓	備人料	
六、看護婦給料(二人二四)	六〇圓	小使一人一日給一圓ノ一二〇日分(同救護班ニ屬スルモノ)	一三五圓
七、小使給料(一人二四五十錢)	一五圓	延一〇人一人一四五十錢	六〇圓
八、消耗品	一〇〇圓	看護婦(救護班ニ屬スルモノ)延三〇人一人二四	二〇〇圓
計	四二五圓	人夫延一〇人一人二四	二四六圓
		慰勞金	八四圓
		雜費	五〇〇圓
		賄費延三〇人一人三十五錢	
		舟車馬備貸 自働車備上一〇臺一臺五〇圓	

一、消耗品

種別	内譯	數量	單價	金額
酒精		二二〇磅	七五〇	一七二〇〇
石炭		二〇〇"	七〇〇	一四〇〇〇
脫脂綿		一五疋	一七〇〇	二五〇〇〇
ガリ		一〇"	二二〇〇	二二〇〇〇
諸用紙		延人員 二〇〇	平均 一〇〇〇	二〇〇〇〇
計				五六〇〇〇

大禮施設費衛生費豫算内譯

科目	目録	金額	内訳	滋賀縣
大禮施設費		一、八六二圓	一般庶費	六〇圓
衛生費		一、八六二圓	特種庶費	四二六圓
應費		四八六	醫師一人、一人月額二〇圓ノ四ヶ月分	八〇圓
内國旅費		二七六	雇員一人一月額一〇圓ノ四ヶ月分	四〇圓
雜給及雜費		一、一〇〇	衛生課長事務打合ノ爲上京旅費	一五六圓
			雜給	
			醫師一人一月二〇〇圓ノ四ヶ月分	八〇〇圓
			雇員一人一月五〇圓ノ四ヶ月分	二〇〇圓
			慰勞金	一〇〇圓

一、消耗品	種別	數量	單價	金額
酒	炭酸精	一五〇磅	七五〇	一一二・五〇〇
石	炭酸	一五〇"	七〇〇	一〇五・〇〇〇
クレゾール	石鹼液	一五〇本	五〇〇	七五・〇〇〇
石鹼	末	二五磅	七〇〇	一七・五〇〇
昇汞	錠	五〇本	八〇〇	四〇・〇〇〇
ガリ	綿	一〇疋	二・二〇〇	二二・〇〇〇
脱脂	綿	二〇疋	一・七〇〇	三四・〇〇〇
硫磺	酸	二五本	四〇〇	一〇・〇〇〇
重曹	曹	五〇"	二〇〇	一〇・〇〇〇
計				四二六・〇〇〇

大禮施設費衛生費豫算内譯

科	目	金額	内	内務次官委任
大禮施設費		八、三七八圓		
衛生費		八、三七八圓		
應費		三、九一八圓	備品費	六〇圓

内國旅費	雜給及雜費	圖書及印刷費	筆紙及文具	消耗品	通信運搬費
四、〇〇〇	四六〇	三、二〇〇圓	一五八圓	二〇〇圓	三〇〇圓

二、地方費

前記國費ヲ以テ衛生上ノ施設ヲ實施シタル以外夫々各府縣ニ於テ衛生施設上ニ要シタル經費竝大禮記念事業等ノ計畫ニ要シタル費用左記ノ通りニシテ之カ詳細内譯ハ各府縣ノ事業概要中ニ所載セルヲ以テ此處ニハ其ノ總額ヲ示スコト、セリ

府縣	金額	府縣	金額
京都	五四、四八六圓	山梨	一、三四七圓
大阪	一九、八〇〇圓	滋賀	四、八五二圓
神奈川	八、九九七圓	青森	五、〇〇〇圓
兵庫	四二、三〇八圓	秋田	九七二圓
長崎	五、九八七圓	富山	六四〇圓
埼玉	一、二〇〇圓	岡山	一、二五〇圓
群馬	三、一一三圓	和歌山	二、六九九圓
茨城	三、八六〇圓	香川	四三〇圓
奈良	四、一四〇圓	福岡	二、五六三圓
三重	一八、六九六圓	佐賀	一、四〇〇圓
愛知	六、三三二圓	鹿兒島	一、三三一圓
静岡	一、二〇〇圓	計	一九一、五九三圓

七 衛生局員ノ勤務状況並視察復命

御大禮ニ關シ特ニ必要ナル衛生事務視察並監督ノ爲メ内務省衛生局員ノ出張ヲ命セラレタルハ左表ニ示スカ如シ

出張命令月日	出張期間	出張地	官職名氏
昭和三年二月三日	一八日	大阪、兵庫、長崎、福岡	防疫官 勝 俣
三月十五日	七日	京都、大阪、兵庫、奈良、三重、愛知及滋賀	衛生局長 山田 準次郎
同	七日	同	内務 屬 奥村 盈次
三月廿七日	十二日	京都、滋賀及福岡	防疫官兼内務技師 内野 仙一
同	十二日	同	内務 屬 佐々木 作一
四月二日	十日	大阪、兵庫、三重及愛知	防疫官兼内務技師 加藤 源三
四月二日	十四日	大阪、兵庫、長崎、山口、福岡及熊本	防疫官 勝 俣
四月十三日	十日	京都、大阪、神奈川、三重、愛知	同 飯村 保三
五月十九日	十四日	大阪、兵庫、長崎及福岡	防疫官兼内務技師 加藤 源三
同	十四日	長崎、三重、愛知、山口及福岡	防疫官 勝 俣
六月五日	七日	神奈川、三重及愛知	同 飯村 保三
七月十日	八日	京都、奈良、三重、愛知及滋賀	内務技師 松尾 仁
同	八日	同上	内務技師兼防疫官 氏原 佐藏
七月十八日	四日	愛知、三重	防疫官 飯村 保三
八月十五日	十日	兵庫、長崎、山口及福岡	同 勝 俣
八月三十日	七日	大阪、兵庫	防疫官兼内務技師 加藤 源三

九月十七日	十日	京都、奈良、三重及愛知	同	同	同
十月一日	五日	大阪、兵庫	同	同	同
十月一日	四日	京都府	嘱託 栗山 大太郎	防疫官 飯村 保三	同
十月十日	十四日	京都府(京都出張中、大阪、兵庫、奈良、三重及愛知)	防疫官 屬 佐々木 作一	衛生局長 山田 準次郎	同
十月十日	廿日	同	内務 屬 奥村 盈次	内務 屬 奥村 盈次	同
十月十二日	三日	京都府	内務 屬 奥村 盈次	内務技師 松尾 仁	同
十月十二日	三日	京都府	内務 屬 奥村 盈次	内務技師 喜島 兼志	同
十月十六日	八日	京都、奈良、三重及愛知	同	同	同
十月十六日	十日	京都、愛知及三重	防疫官兼内務技師 佐藤 正	防疫官兼内務技師 加藤 源三	同
十月十九日	七日	京都、大阪、奈良、三重、愛知及福岡	内務 屬 伊藤 健	防疫官 補 南澤 銀次	同
十月十八日	廿一日	京都府(京都出張中、大阪、兵庫、奈良、三重及愛知)	防疫官兼内務技師 加藤 源三	防疫官 補 南澤 銀次	同
十月廿四日	三十日	京都府	防疫官 補 南澤 銀次	防疫官 勝 俣	同
同	廿一日	京都府(京都出張中、奈良、三重縣)	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	内務 屬 奥村 盈次	同
同	卅一日	京都、三重、愛知、奈良及滋賀	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	嘱託 栗山 大太郎	同
同	卅四日	京都府	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	同
同	七日	同	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	同
同	十日	京都、愛知、三重	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	同
同	七日	京都、大阪、愛知及滋賀	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	防疫官兼内務技師 南崎 雄七	同

同	七日	京都、大阪、愛知及滋賀	内務技師兼防疫官	野邊地慶三
同	十六日	京都、愛知(京都出張中、奈良及三重)	防疫官兼内務技師	内野仙一
同	七日	京都、三重、愛知、奈良、滋賀	衛生局長	山田準次郎
同	十月廿六日	京都府	内務屬	笠岡徳次郎
同	五日	同	同	小島敬三郎
同	十日廿七日	京都、愛知	同	吉武惠市
同	六日	同	同	山田正弘
同	六日	同	同	赤羽穰
同	六日	京都府	内務技師	諸富茂雄
同	十月三十日	京都、奈良、三重、愛知及滋賀	書記官	伊藤武彦
同	十一月十二日	京都府	内務屬	岡本時雄
同	十一月十九日	京都及三重	防疫官	飯村保三
同	十一月廿四日	京都、大阪及兵庫	内務屬	久住謹輔
同	十一月廿九日	京都、奈良、三重、滋賀	内務屬	近藤榮藏
同	七日	京都、三重	同	霜崎清
同	七日	同	同	今澤米二
同	七日	同	内務技師	内藤和行
同	七日	同	内務屬	佐々木作一
同	十一月廿九日	京都府	内務	

大禮衛生状態及衛生施設ニ關スル視察復命書
 各復命書トモ本文ノミヲ掲ゲ添附ノ書類圖面等ハ全部省略、別項關係府縣ノ記事參照

京都府、悠紀齋田、主基齋田ニ關スル衛生査設視察復命

昭和三年四月十三日

京 都 府

内務技師 内野仙一

一、御大禮ニ關シテ衛生講習會ノ開催

京都市ハ府ト協力シテ、市内七警察署管内ヲ便宜五區劃トナシ、平均四日間ヲ期限トシ、衛生一般ニ亘リ講習會ヲ開催セリ。

聽講生ハ小學教員、産婆看護婦組合員、衛生組合職員、警察官吏、防疫監吏ノ範圍トス。

第一回ハ京都市衛生試験所ニ於テ開催セリ。

三月卅日小官本省ヨリノ派遣講師トシテ諸講習科目ニ亘リ其ノ要項ニ關スル指導原理ヲ約二時間講演セリ。

因ニ當時ニ於ケル計畫ニ依レバ四月^{自十六日}至^{自十九日}ニ第二回ヲ四月^{自二十四日}至^{自二十六日}ニ第三回講習會ヲ開催豫定セリ。

一、御大禮關係衛生施設協議事項

京都市ハ府當局ト協定シテ標記ノ件ニ關シ市當局ノ外、市衛生顧問(帝大教授、府大醫學長及教授)、府市醫師會長、府市藥劑師會長、市聯合組合委員、市常設委員タル市會議員、府衛生當局、各警察署長ノ二十六名ヲ召集シ、先ツ第一著ニ三月三十日午後防疫施設ニ付テ協議會ヲ開催セリ。

協議事項概目

- (一)、患者關係者ニ對スル檢便調査
- (二)、飲食物取扱業者接客業者等ニ對スル檢便調査
- (三)、檢病調査(各戸健康視察)
- (四)、蠅ノ驅除

- (五)、溝渠井戸ノ消毒
 - (六)、水槽便所ノ取締
 - (七)、上水普及
 - (八)、井戸水ノ使用並構造改善
 - (九)、野菜洗場ノ改善
 - (十)、豫防注射(腸チフス)
 - (十一)、自治的協調ト衛生思想ノ普及
 - (十二)、其ノ他防疫ニ關スル事項
- 以上

次回以後ノ協議會ニハ前記ノ關係者以外ニ主要ナル諸會社工場主及學校當局ヲモ本會議ニ召集シ官民協同的ニ衛生施設ノ實行ヲ期スルコトニセリ。

本會議ニハ小官臨席シ御大禮關係衛生施設ニ關スル諸般ノ要項ヲ説明シ尙諸質議ニ對シテ懇切ニ應答セリ。諸員何レモ熱心ニ協議ニ從事シ午後一時半ヨリ同六時ニ至ル長時間少シモ倦怠ノ風ナカリキ。

協議事項中

- 一、檢病調査(各戸健康視察)ハ衛生組合トシテハ長期ニ亘リテハ其ノ實行困難ナレ共御大禮ニ關スル此ノ場合トシテハ八月以降四ヶ月間ノ期間ハ實行出來得ルコト

乳劑處方

- 四 鹽 化 炭 素 七、五
- ベ タ ゴ ー ル 七、五

- 一、蠅ノ驅除ニ關シテハ蠅ノ發生時期ヲ通シテ市ニ於テ二回衛生組合ニ於テ四回定期的乳劑散布ヲ施行スルコト

カ ン フ ル 五、〇

ノ混合乳劑ヲ市衛生試驗所檢定ノ上有效ト認メタルモノヲ配付スルコト

- 一、上水ノ普及ハ現在全戸數ノ八三、〇%ヲ算ス、住民ノ約七、八割ハ借家住者ナルヲ以テ其ノ普及ニハ相當困難ナル事情アルモ個々ノ場合、場所ニ付臨檢シテ其ノ實績ヲ擧クルノ他ナキコト

一、豫防注射ハ腸「チフス」ヲ主眼トシテ延人員約十萬人ヲ豫定シ其ノ必要アリト認ムル範圍ノ者丈ケニ施行スルコト等ハ本會議ニ於テ一致協定セシ所ナリ。

本省ヨリノ御大禮衛生施設ニ關スル通牒ハ未ダ府知事ノ手許ニ到達セザリシヲ以テ次回ヨリノ協議會ニ於テハ該通牒ニ基準シ其ノ施設ノ實施ヲ期セラレタク府市當局者ト打合セ置ケリ。

滋 賀 縣

一、悠紀齋田地衛生視察

齋田ハ三上山ト別格官幣中社御上神社トノ中間ニ在リ。本村ハ部落五、齋田ニ接シタル部落ハ野井田ト稱シ人家ハ三上山山麓ニ位置シテ齋田ニ向ツテ散在セリ。

齋田地タル滋賀縣野洲郡三上村ニ於ケル傳染病患者發生ハ大正十三年ニ腸「チフス」患者一名ヲ發生セシコトアル外既往ニ於ケル傳染病ヲ主トセル衛生状態ハ良好ナリ。

齋田奉耕ニ従事スル者ハ特ニ健康診斷ヲ行ヒ、猶以上ヲ合シタル村民約六百人ニ對シ爲念保菌者ノ檢索ヲ行ヒ、特ニ本村ニ新ニ飲食物ノ營業ヲナス爲他ヨリ來村スル者ニ對シテハ時々糞便檢査ヲ施行シ且ツ腸「チフス」豫防注射ヲ周到ナル注意ノ下ニ施行スルコトニ定メ郡醫師會ノ奉公的援助ト協力シテ既ニ本施設ニ著手シツツアリ。

種痘ハ此際村民全部ニ新ニ之ヲ行フコトトセリ。其ノ他清潔方法施行、塵芥處置、蠅ノ驅除、水質檢査、村内住民健康視察、野犬ノ撲滅、畜犬ニ對スル豫防注射等ニ關スル三上村ニ實施スベキ衛生施設ハ着々計畫シツツアリ、悠紀齋田ニ對スル衛生關係豫算ハ三千七百六十九圓ヲ計上セリ。

齋田遠隔ノ地ヨリ齋田地ニ參集スル一般ノ者ノ交通ハ主トシテ野洲驛ヨリ野洲町通過スベキヲ以テ(野洲驛三上間約二十五町)野洲町ニ對スル衛生施設殊ニ傳染病豫防ニ關スル注意ハ重要ナルニ付此點ニ關シ相當ノ警戒方ヲ爲念縣當局ニ注意シ置ケリ。

齋田奉耕従事者

男 六十五名 年齢二十歳乃至三十五歳
女 三十五名 " 十八歳乃至三十歳

福岡縣

一、主基齋田衛生視察

齋田ハ福岡縣早良郡脇山村ニアリテ、福岡市ヨリ西南六里、椎原川ノ上流ニ沿ヘル山間ニ在リ。人家ハ散在シ戸數四百戸、人口二千四百三十二ナリ。

齋田地タル脇山村ニ於ケル傳染病患者ハ大正十五年腸「チフス」六、昭和二年赤痢一ノ發生アリ、本年ハ未ダ其ノ發生ナク衛生状態良好ナリ。

齋田地及其ノ附近ニ於ケル衛生施設ニ付テハ、健康診断保菌検査ノ施行ノ如キハ滋賀縣ト同一歩調ナリ。齋田奉仕者ハ青年會員及處女會員ニシテ之等ノ者及其ノ家族ニ對シテハ夫々施行スルコト、ナリ居レリ。

齋田地ノ管轄警察署ニ於テハ同地及同地方ノ町村衛生主任、其ノ他關係者ト衛生施設ニ付協定シ、其事項ヲ逐次實施シツツアリ。

當日齋田地ニ於テ警察署ハ各衛生組合(各部落毎ニ組合ヲ設ケアリ)代表者ヲ召集シ協議會ヲ開キ居レルニ付コノ好機會ニ小官之レニ臨ミ衛生ニ關スル訓示ヲナシタリ。

齋田ニ對スル衛生費豫算貳千五百六十四圓計上セリ

大阪府種痘發生狀況復命

昭和三年四月二十七日

防疫官 飯村保三

一、患者數 現在迄發生 二十四人

一、發生地域 別紙圖面(省略)ノ通り

一、豫防施設

檢病戸口調査ハ港區市岡方面二萬戸ノ内四千戸ヲ警戒區域トシ巡查十人、防疫監吏十人ニテ之ヲ施行シ一人二百戸當リニテ毎日各戸巡檢、其ノ他ノ一萬六千戸ニハ巡查四十人ニテ隔日巡檢鶴町方面ハ巡查二十人ニテ隔日巡檢ノ手筈ナリ

種痘施行

種痘所ハ市岡方面四ヶ處(午後一時ヨリ九時迄)

同 鶴町方面二ヶ處(午後一時ヨリ五時迄)

今後從來ノ發生區域、貧民窟、鮮人部落、小學校兒童ノ範圍ニ四月二十七日迄ニ約三十萬人施行ノ見込ニテ勵行中
右ハ第一次計劃トシテ今後發生區域廣マルニ從ヒ適當ノ範圍ニ施行ノ筈ナリ

三重、奈良、京都、滋賀及愛知ニ於ケル保健衛生事務視察復命

昭和三年七月二十八日

内務技師 氏原佐藏

内務技師 松尾仁

三重縣

三重縣ニ於ケル御大禮關係保健衛生施設トシテハ本年六月十八日三重縣訓令甲第二十五號ヲ以テ警察署、市役者、町村役場ニ對シ訓令ヲ發シ、内務省ヨリノ通牒ニ基キ衛生注意事項ヲ列記シ督勵スル所アリ、尙ホ縣民ニ對シテハ六月十八日三重縣諭告第一號ヲ以テ一般衛生心得ヲ示シ官民協力萬遺漏ナキヲ期セシメントセリ、更ニ御大禮衛生施設費トシテ特ニ壹萬八千六百九拾六圓ヲ計上シ、内譯衛生費二、三五八圓、傳染病豫防費一五、一〇六圓、衛生宣傳費二三二圓、鼠族買上補助費一、〇〇〇

圓トシ、此ノ中衛生費及衛生宣傳費合計二、五九〇圓ハ保健衛生施設費ナリ、而シテ御料牛乳及御料肉ニ關シテハ豫算計上當時御下命ノ有無未定ナリシモ若シ御下命ニ接スルモ差支ナキヤウ經費ヲ計上セリ（其後別ニ御下命ナカルヘシトノ内達アリシトノコトナリ）

縣警察部ニ於テハ行幸啓ニ關スル施設概要及海港防疫施設ノ事項ヲモ決定シ、既ニ謄寫印刷ニ附シアリ概シテ諸般ノ計劃上遺漏ナキヲ期シツ、アリタリ。

尙ホ個々ノ保健施設トシテハ飲料水ニ就テハ宇治山田市、渡會郡神社町、四鄉村、濱鄉村、御園村、豐濱村、北濱村、小俣村志摩郡鳥羽町ニ於ケル井戸ノ浚渫ヲ行ヒ施行後クロール石灰消毒ヲ持續セシムルト共ニ一方宇治山田市ヲ中心トセル附近町村ノ飲料井約七千箇ニ對シ水質検査ヲ施行シ飲料不適ト認ムルモノニ對シテ改善施設ヲナサシムルガ爲宇治山田市ニ出張所ヲ設ケ吏員ヲ派遣シ之ヲ爲サシムル計劃ナルモ未ダ小官等視察ノ當時ニ於テハ着手ニ至ラザリキ。

一般ノ清潔保持トシテハ此際特ニ汚物掃除法ノ勵行ヲ期シ市及準用町村ヲシテ公共溝渠ノ修築浚渫ヲ爲サシムルト共ニ津、宇治山田及四日市ノ三市ニ就テハ特ニ汚物ノ搬出ノ取締ヲ勵行スヘキ方針ヲ樹立シ宇治山田及四日市ニ於テハ完全ナル塵埃燒却場ヲ設備セシムルコト、セリ。

飲食店旅人宿等特ニ衛生上取締ヲ要スル各種營業者ニ對シテハ此ノ際飲食調理所ノ採光防鼠防塵防蠅ノ設備ヲ完全ナラシムルト共ニ旅客ノ輻輳スベキ津、宇治山田、四日市ノ三市及二見、鳥羽兩町ニ於ケル旅人宿ニハ浴場ノ設備ヲ完成セシムルト共ニ係官ヲ派遣シ各關係營業者ノ使用スル飲食物及飲食物用器具ノ検査ヲ勵行セシムル豫定ナリ。

奈良縣

本縣ハ御大禮關係トシテハ畝傍山麓及榎原神宮附近ヲ主トスルガ爲メ主トシテ全力ヲ同方面ニ注グ豫定ニシテ行幸ニ關スル御料水ハ從來ノ經驗ニ依レバ京都ヨリ運搬セラル、例ナルモ供奉員用及萬一ノ場合ノ用意トシテハ農事試驗場使用ノ水源ヲ使用スル豫定ナリ右水源ハ畝傍山麓ノ山林中ニ湧出スルモノヲ暗渠ヲ以テ農事試驗場構内ニ引水セルモノニシテ右水源ヲ警戒スルニ於テハ安全ナルモノナリ。

一般的保健的施設トシテハ附近町村ノ清潔保持ヲ勵行スルト共ニ一般住民ノ健康視察ヲナシ行幸關係地高市郡（高取町船倉村ヲ除ク）及磯城郡耳成村及遊覽客ノ入込ム見込ミナル奈良市ニ於テ井水ノ水質検査ヲ行ヒ不良ナルモノハ改善設備ヲ施サシムル豫定ニシテ検査豫定數約八千個ナリ。

検査方法ニ就テハ豫算等ノ關係ヨリ縣勤務技術官主トシテ之ニ當ルモ助手トシテ大阪藥專ノ學生ヲ使用シ採取等ノ補助トシテハ各衛生組合ヲ活動セシメ小官等出張當時既ニ右検査ニ從事シツツアリタリ。

奈良市ノ飲食店其ノ他ノ特殊營業者ニハ水道水ヲ使用セシメツ、アレ共此ノ際特ニ其ノ使用ヲ勵行セシムル豫定ナルト共ニ右水道水ハ奈良市民ノ大部ニ供給シツツアルガ故ニ其ノ水源地ヲ視察シタル所其ノ設備ニ就テハ特ニ缺陷トシテ認ムベキモノ無シト雖沈澱池及濾過池ニ比較的大型ノ魚類棲息スルヲ認メタルガ故ニ看守人ニ問訂シタル所一兩年前ヨリ鯉魚ヲ飼ヒ其ノ残りナル由ニツキ鯉魚ノ飼養ノ如キハ濾過池ニ於ケル濾過操作ヲ安全ナラシムル所以ニ非サル旨指示スルト共ニ縣衛生課長ヲ通シ市當局者ノ注意ヲ喚起シ置キタリ。

飲食物、飲食物用器具ノ取締ニ對シテハ秋期遊覽客ノ増加前特ニ検査ノ勵行ヲ期スル豫定ナリ

京都府

京都府ニ於ケル御大禮衛生事務ニ關シテハ本省ニ於ケル打合せニ基キ、夫々必要ナル準備ヲナシ御大禮事務衛生部長ニハ府衛生課長ヲ以テ之ニ充テ以下各係員ヲ配置シ既ニ分擔實施シツ、アリ之ガ詳細ハ時々京都府ヨリ詳報ノ如クナルヲ以テ之ヲ省略スルモ大體府ニ於テ直接實施スルモノト、京都市ヲシテ實施セシメ之ヲ監督スルモノトノ兩途アリ而モ保健衛生事務ハ主トシテ市ヲシテ直接實施セシムルモノ多キヲ以テ小官等ハ市保健部長及府衛生當局ノ案内ニヨリ同關係方面ノ視察ヲナセリ。一般保健施設トシテハ飲料水ニ就テハ府吏員及臨時囑託藥劑師ヲ以テ検査班ヲ五班ニ分チ八月ヨリ井水ノ一齊検査ヲ實行、不良ナルモノニ就テハ之ガ改善ノ方法ヲ講ゼシムル目的ヲ以テ小官等出張當時ニ在リテハ検査ノ事務準備中ナリシガ本検査ヲ終了後ハ右検査員ヲシテ飲食物及飲食物用器具ノ取締ニ當ラシメ御大禮當時迄ニハ取締ノ徹底ヲ期セムトシツ、アリ。京都市水道水源ニ就テハ御所内ニ引用セルヲ以テ最モ注意スベキ關係ニ在リ。

第一水源ニ就テハ京都府管内ニアリテハ暗渠ニテ直チニ淨水場ニ入ルガ故ニ淨化施設以外特ニ留意ヲ要セズト雖第二水源ハイ
ンクライン用ノ餘水ヲ利用シ居リ且ツ松ヶ崎淨水場ニ至ルノ間大部ハ開渠ニシテ沿道人家多キヲ以テ萬一ヲ慮ルトキハ特ニ警
戒スル要アリ市當局者ニ於テ相當ノ手段ヲ講ズル様注意ヲ喚起シ置ケリ。

汚物ノ處分ニ就テハ塵埃ハ一部ノ農家排肥トシテ使用以外ハ大體焼却施設ヲ講ジ支障無キガ如キモ御大禮時期ニ際シテハ一層
搬出ノ勵行ヲ爲ス豫定ナリ。

飲食店其ノ他ノ特殊營業者ニ就テハ水質検査終了後技術官ノ検査取締ヲ實行スル豫定ナレ共小官等視察當時ニ於テハ未ダ之ヲ
行ハズ。

土産物用ノ飲食器具玩弄品ニ就テモ小官等視察當時ハ未ダ御大禮ヲ當テ込ミタルモノハ其ノ姿ヲ店頭ニ見ザリシモ從來販賣セ
ラル、モノ、種類ヨリ推ストキハ相當粗悪品ノ出現スルハ豫期スルニ難カラザルガ故ニ之等物品ニ就キテモ十分留意ヲ希望シ
置キタリ。京都全市ニ對シ食糧品ノ供給ヲナスベキ機關タル中央食品市場ハ完成開場後尙ホ經驗淺ク、場内ノ整備、殊ニ衛生上
ノ施設ト之ガ運用ニ關シテハ未ダ遺憾トスル所多ク場内給水及清潔保持竝ニ便所利用ノ狀況等モ安心ヲ許サルモノアリ此ノ
點ニ關シテハ特ニ市ノ市場課及ビ衛生當局者ニ對シ注意ヲ促スト共ニ府衛生當局ニ對シテモ十分ナル監督方ヲ希望シ置ケリ、
其ノ他公私設ノ小賣市場ニ至リテハ一般ニ保健施設ニ關スル設備ニ缺クルトコロアリ、不潔ニ流レ易キガ故ニ之モ亦併テ當事
者ノ注意ヲ喚起シ置キタリ屠場モ同様給水設備ニ缺クル所アルモ御大禮ヲ期シ改築セントシツ、アリ。

滋賀縣

市都市水源取入口ハ大津市ニ在リ從來他府縣關係トシテ顧ミザリシ疑アリ取入口附近ノ清潔保持並ニ警戒ニ就テハ特ニ滋賀縣
當局ノ留意ヲ希望セリ。

齋田地方ハ小官等視察當時參觀人ノ來集時季ナリシガ共同便所ノ設備、販賣用飲食物ノ取締等ニ徹底ヲ缺クト認メラル、點多
ク、且又齋田隣接部落ノ清潔保持、便所、使用水、飲料水ニ對スル衛生的注意上遺憾ノ點甚ダ多シト認メラレシヲ以テ特ニ當
局者ノ注意ヲ喚起シ置キタリ。

滋賀縣ノ御大禮關係ノ保健施設トシテ特ニ必要ナル追加豫算モ計上サレタル所少ナク從ツテ大津市附近ノ飲料井ノ改善ヲ施サ
ムガ爲メ水質検査ヲ實行セムトスルモ經費ニ缺クル所アルガ爲メ縣藥劑師會ノ援助ニ俟タムルトスル希望ナリシヲ以テ縣藥劑
師會長ニ對シ萬一縣ヨリ援助希望ノ際ハ可及的助力ヲ希望シ置キタリ。

愛知縣

愛知縣ニ於テハ御大禮衛生關係ノ追加豫算モ比較的多額ニ計上サレ、衛生課ニ於テハ夫々分擔シテ事務ノ進行上萬遺憾ナキヲ
期シツ、アリ、一般保健施設中水道ニ關シテハ淨化設備ニ就キテハ支障ヲ認メザルモ取入口淨水場間ノ大部ハ開渠ナルガ故ニ
陛下幸當時ハ特ニ係人員ヲ平常ニ倍加シ萬一ヲ警戒スル様準備シツ、アリ。

汚物處分ニ就テハ尿尿ハ從來伊勢灣投棄ニヨリ屢々問題ヲ惹起シタルガ故ニ注意視察セルモ本年ハ農家トノ關係圓滿ナルト千
種ニ於ケル處分場ノ活用トニヨリ投棄ノ必要ヲ生ズルガ如キ憂ナキ見込ミナリ塵芥處分ニ關シテモ比較的多量ヲ完全ナル燒却
場ニ於テ處分シツ、アリ、大禮時期ノ迫ルト共ニ一層能率ヲ擧グベク考慮中ナリシニヨリ萬々支障ヲ來スコトナカルベシト認
メラル。

食品小賣市場ノ衛生的取締ハ動モスレバ閑却視サレントスル傾向認メラレシヲ以テ此ノ點ニ關シテハ特ニ衛生當局者ノ注意ヲ
促シ置キタリ。

大阪府、兵庫縣ニ於ケル「コレラ」豫防施設ニ關スル復命

昭和三年十月十二日

防疫官 加藤源三

本月二日東京發當該府縣ニ出張シ「コレラ」豫防施設ヲ視察監督ス其ノ狀決左ノ如シ

第一 兵庫縣

甲 病源侵入

英國貨物汽船「グレナツプ」號 (總噸數九、五〇三噸) (登簿噸數五、八七七噸) ハ本年七月十三日ダンカークヲ發シミッドルスブロー、倫敦、蘇士、
彼南、ポートスウエツテンハム、新嘉坡ヲ經テ九月十二日香港着同十四日香港發、九月十七日上海着同二十二日同地發土

佐沖廻リニテ紀伊水道ヲ通過シ廿五日未明神戸港ニ着ス神戸税關港務部ハ兼ネテ船舶會社ニモ通牒ヲ發シ上海ヨリノ船舶ニ對シテ嚴重ニ檢疫ヲ施行シ居タリシヲ以テ本船ニ就テモ特ニ注意シテ檢疫ヲ施行セシニ異常ヲ認メズソノ際船長ヨリ提出ノ明告書ノ通り尙ホ念ノ爲メ下級船員ノ便所ハ一時之ヲ封鎖シソノ糞便ヲ採取シタル上入港ヲ許可ス同下級船員四十八名中二名ハ材料採取不能ナリシモ之ヲ採取セシモノニ關スル細菌學的検査ニハ何等異常ヲ認メズ。

入港ノ許可ヲ受ケタル同船ハ直ニ浮標第十號ニ繫留シ荷役ヲ爲シツツ在リタルニ同日夕刻ニ至リ同船一等運轉士英國人エス、エム、ジェー(四十一年)ハ神戸在住ドクトル「カニコチルン」ノ往診ヲ求メタルバ同醫師ハ診察ノ上病源確定ノ爲メ同人ノ糞便ヲ採取シ之ガ細菌検査ヲ神戸市東山病院ニ委嘱セリ然レドモ同船ハ其ノ結果ノ判明セザルニ先チ荷役ヲ了シ二十六日午後一時横濱港ニ向ケ出發セリ。

一方東山病院ニ於テハ細菌學的検査ヲ續行シ廿七日午後三時ニ至リ同細菌検査材料ノ「ペプトン」水培養ニ極メテ少數ナルモ「コレラ」菌類似ノ形態ヲ有スル細菌ヲ認メタルバ更ニ之ヲ第二ノ「ペプトン」水ニ培養セシニ確ニ「コレラ」疑似菌ヲ認メ直ニ之ヲ兵庫縣衛生課ニ報告セシヲ以テ同課ニ於テハ更ニ之ヲ検査ノ上同四時「コレラ」疑似菌ト決シ更ニ検査ヲ續行シ廿九日午前九時卅分ニ至リ之ヲ「コレラ」菌ト決定セリ。

カクノ如クシテ「グレナツグ」號ハ當該一等運轉士ヲ載セタルママ二十七日午後四時十五分横濱港ニ到着セシガ横濱港務部ニ於テハ檢疫ノ結果前記一等運轉士(歐人)エス、エム、ジェー(四一)ヲ「コレラ」患者ト決定セシ外船長(歐人)タイ、エフ、アイ(三八)大工(歐人)エーチ、ジー、エス(三二)水夫(支那人)曹〇慶(二〇)水夫付料理人(支那人)呂〇興(三八)ガ何レモ「コレラ」菌保有者ナルヲ發見シ正規ノ豫防措置ヲ施行セリ。

因ニ横濱税關ニ於テ船長ニツキ調査シタル處ニヨルニ一等運轉士エス、エム、ジェーハ同船ガ上海發ノ翌二十三日發病シ同日四回廿四日十二回廿五日神戸港着後九回ノ下痢ヲ爲シタル趣ニシテ長濱検査所ニ收容後モ廿九日五回翌三十日五回ノ下痢ヲ見尙同船船員七十四名中下級船員三十五名ハ今回上海ニ於テ新ニ雇入レタルモノニシテ前記ノ保菌者二人ハ其ノ中ノ者ナルノミナラズソノ一人ハ上海在住中八月廿四日夕發病吐瀉ヲ始メ「コレラ」様疾患ニ腦ミ九月十四日ニ退院シ同十八

日同船ニ雇入レラレタルモノナル趣ナリ

乙 豫防措置

「グレナツグ」號ヨリノ排泄物ニヨリ神戸港海水ハ汚染セラレタルモ同船ガ繫留セシ第十號浮標ハ港ノ最モ外側ニ在ルノミナラズソノ附近ノ防波堤ハ未ダ完成スルニ至ラズシテ同所附近ノ海水ハ港外ニ流レ去ルノ傾向多キハ幸ナリ

一、グレナツグ號荷役従事者等健康調査

當該者ニ對シテハ健康診斷ヲ施行スルト共ニ二回採便検査ヲ行フ、異常ナシ

二、海水使用停止

九月二十八日縣令第四十七號ヲ以テ神戸港内ノ海水使用ヲ停止シ嚴重之カ取締ヲナス

三、豫防注射

神戸港水上生活者ニ對シテハ上海ニ「コレラ」發生ト共ニ去ル八月十五日ヨリ「コレラ」豫防注射班六班ヲ組織シ之ガ施行中ナルヲ以テ一層之ヲ督勵シ之ガ徹底ヲ期ス。

十月九日迄ニ神戸港水上生活者注射済數一回一七、〇一九、二回六、四九二、同上家族注射済數一回五、一九八、二回三、三七三、其他郵船、商船ニテ施行ノ分約一萬五千ニ達スル見込

尙今回前記ノ如キ水上生活者同家族ノミナラズ生魚商等直接關係アル者ハ勿論一般市民ニモ「コレラ」豫防注射ヲ普及スルコトトシ市當局及神戸市醫師會ニ於テ之ガ無料施行ヲ開始セリ。

神戸以外ノ港ニ於テモ之ガ施行ヲ督勵ス當該水上生活者「コレラ」豫防注射済數ハ十月九日迄ニ一回一四、八三一、二回九、八三〇ニ達ス。

四、早期發見

兼ネテ施行ノ死體檢案ヲ勵行スルト共ニ十月二日ヨリ防疫醫、藥劑師、防疫監吏、警察官、看護婦ヨリ成ル無料診療班二班、檢病採便班四班ヲ組織シテ神戸港ニ配置シ患者ノ早期發見ニ努ム。

五、上水ノ供給

船舶ニ上水ヲ充分ニ使用セシムル爲メ神戸港沿岸適當ノ箇所十三ヶ所ニ無料給水栓ヲ開設シテノ使用ヲ督勵ス。

六、尼ヶ崎港ハ大阪神戸等ト特ニ密接ノ關係アルヲ以テ防疫醫三、藥劑師一、看護婦三、防疫監吏四、警部補一ヲ之ニ派遣シ防疫班三班、消毒班一班ヲ編成シ「コレラ」豫防注射ノ續行ヲ督勵スルト共ニ檢病、採便調査等ヲ勵行ス

此外關係アル沿岸各港ニ就テハ之ニ準ジタル豫防措置ヲ施行ス。

七、ソノ他注意書ヲ配布シ衛生講話ヲナス等一般ノ注意ヲ喚起スルニ努ム。

八、是等諸施設ノ徹底ヲ期スル爲メ兵庫縣ハ十月五日更ニ檢疫費八千八百八十四圓ノ追加豫算支出ヲ決定ス

第二 大阪府

甲 患者ノ發生

大阪府衛生課細菌室小使高雄某(六四)ハ「コレラ」培養基消毒等ノ作業ニ從事シタル處九月三十日宿直ヲナシ翌十月一日午後五時迄勤務シ帰宅後八時頃就寢同十二時頃發病翌朝迄ニ下痢十數回嘔吐二、三回、十月二日午前九時三十分

「コレラ」ノ疑アル旨届ケ出デアリタルヲ以テ細菌検査ノ結果二日午後八時類似症三日眞症ト決定ス細菌室ニ於テ作業中感染セシモノト認ム。

乙、豫防措置

一、患家ノ措置

「コレラ」ノ疑アル旨届出ニ接スルト共ニ患家ノ假交通遮斷ヲ行ヒ決定ト同時ニ患者ハ大阪市立桃山病院ニ收容スルト共ニ交通關係者八名ヲ大阪市隔離所ニ隔離シ患家ノ消毒ヲ施行ス

二、河海水使用停止

患家ハ尻無川沿岸ニ在リテ一日夜中ソノ汚物ヲ同川ニ投棄スソノ附近ニ於ケル同川ノ川幅ハ約四十間深サ約八尺、當日ハ午前二時頃カ干滿潮ノ境ニシテ汚物投棄ノ時期カ何レノ潮時ナリシヤ明ナラス爲メ十月三日府令ヲ發シ

廣ク河海水ノ使用ヲ停止シ嚴重之カ取締ヲナス。

三、豫防注射

大阪港水上生活者ニ對シテハ神戸ト同シク上海ニ「コレラ」發生ト共ニ八月十三日ヨリ豫防注射班十班ヲ組織シ之カ施行勵行中ノ處本發生ト共ニ一層之ヲ勵行シ尻無川方面ニカヲ注ク十月六日迄ニ當該施行濟數一回五四、五二三、二回二三、五九七、堺港ニ於テ施行濟數一回五二六、二回二八

以上ノ外大阪市當局ハ注射班二班ヲ組織シ患家殊ニ尻無川沿岸地帯住民約一萬ニ對シ豫防注射ヲ施行スルモトトシ直ニ之ニ着手ス。

四、早期發見

死體檢案ヲ勵行スルト共ニ巡查一、防疫監吏二ヨリ成ル採便班五班、防疫醫一、防疫監吏一ヨリ成ル檢診班二班ヲ組織シテ尻無川ニ配置シ患者ノ發見ニ努ム患家附近ニ對シテハ受持警察官署ニ於テ檢病的戶口調査ヲ施行ス。

五、上水ノ供給

既設三十五ヶ所ノ無料給水栓ノ外十七ヶ所ヲ新設シ船舶ニ上水ノ無料供給ヲナシ之ヲ督勵ス。

六、其ノ他注意書ヲ配布シ衛生講話等ヲ開催スル等一般市民ノ注意ヲ喚起ス。

因ニ京都府ニ在リテハ九月三十日府會ヲ、滋賀縣ニ在リテハ十月一日縣令ヲ發シ神戸港内ニ於テ漁撈シ又ハ之ヲ通過シタル魚介類等ノ移入ヲ停止セリ。

尙ホ京都府ハ大阪港ヨリノ魚介類ニヨル病毒輸入ハ大阪港河海水ノ使用停止ヲ嚴重施行セハンノ危險ハ無キ趣ナルヲ以テ大阪府ト協議ノ上同府ニ對シテハ當該魚介類ノ輸入停止ヲ行ハス。

京都市平〇女學校赤痢患者發生狀況調査復命

昭和三年十月十五日

防疫官 飯村保三

十月十三日午後二時府山本衛生技師同道下立賣平安女。學校寄宿舎ニ臨檢首題ノ件調査候處概要左記ノ通ニ有之候

一、場所及寄宿舎ノ概況

下立賣平〇女學校寄宿舎ハ京都御苑西側約一丁ノ位置ニ在リ、日本造二階建ニシテ本館二十室（寄宿生六〇人）専攻部宿舎（寄宿生約四四人）其ノ他炊事室浴室便所等アリ

炊事室ハ約二十餘坪アリ水道栓ノ配置、調理臺、採光、換氣等充分ニシテ諸器具整頓ス
浴室便所等ノ構造設備適良

二、患者發生ノ模様

十月四日寄宿ノ一女生徒腹痛下痢發熱アリ粘血便アリシヲ以テ校醫福田萬七ノ診療ヲ受ク

十月五日他ノ一女生徒腹痛下痢數行粘血便一回アリ同シク校醫ノ診療ヲ受ケ更ニ他ノ全生徒ヲ檢診シ少シニテモ粘液排出アル者ハ之ヲ赤痢ト診定届出テタリ

十月九日更ニ一人ノ粘液混入便排出者追加届出ス（當日合計九人届出）

以上九人ハ届出ニ從テ直ニ府立傳染病院ニ收容ス、原因系統等全ク不明ナリ

三、消毒施行及檢診

寄宿舎ニ對シテハ直ニ市ヨリ消毒班ヲ派シ消毒施行府衛生課員立會

寄宿舎ニ於テ看護婦ヲ雇入レ校醫指揮ノ下ニ毎日檢温及檢便ヲ繼續ス

其ノ後疑ハシキ患者等發生ナシ

四、今後ノ見込

粘血便ヲ排出シタル二人モ既ニ治療シタル如キ狀態ニアリ其ノ他ノ七人ハ最初ヨリ粘血便ナキノミナラス浣腸ニ依リ採便シタルモノニ粘液ヲ混シタル程度ニシテ何レモ極メテ輕症ナリ

以上患者發生前後ノ狀況其ノ他ヨリ見ルニ今後恐ラクハ發生ノ虞ナカルヘシ

宮内職員合宿所衛生施設視察復命

昭和三年十月十六日

防疫官 飯村保三

十月十五日宮島宮内技師、皇宮警察部出張所ノ松本所長回伴首題ノ場所ニ付視察セル要項左ノ通ニ有之候
一、合宿所ノ位置及場所室數等

1. 京都御所内皇宮御殿附屬建物

室數四、便所一ヶ所（外ニ新設豫定便所一）

省丁其ノ他備人級約六〇人ノ豫定

2. 今出川通、平安義會建物

室數五、便所二ヶ所（外ニ新設豫定便所四）

雇員級約八〇人ノ豫定

外ニ隔離用別室三

3. 今出川通、櫻橋財團建物

室數四、便所二ヶ所（外ニ新設豫定便所一）

雇員級約四〇人ノ豫定

4. 七條通、舊賀陽宮邸

室數約五〇、便所五ヶ所（外ニ新設豫定便所一）

判任官級約一八〇人ノ豫定

5. 皇宮警察部出張所内（武術場）

室數一、便所ハ出張所用兼用

皇宮警手約一五〇人ノ内交互ニ常時三〇人ノ宿舍タル豫定

二、視察及打合せ要項

室ノ配置ト便所ノ關係及便所(折設豫定共)ノ場所ト外圍トノ關係、炊事場ノ位置並合宿所外ヨリ搬入ノ場合ノ關係、炊事關係者ノ檢診又ハ保菌檢査ニ付府廳ト協議セル事項施行ノ順序方法等、疑ハシキ患者發生時ニ於ケル府廳トノ連絡關係等

奈良縣大禮衛生施設視察復命

昭和三年十月二十七日

防疫官 加藤源三

- 一、神武御陵御大禮關係宮内職員等七十五人ニツキ縣ニ於テ健康診斷及保菌檢査ヲ施行ス異常ナシ
- 一、神武御陵御少憩所ノ消毒ハ宮内省ニ於テ施行ノ筈ナルモ之ニ要スル人夫、諸材料等ハ御依頼ニヨリ縣ニ於テ手配濟
- 一、宮内職員宿泊所ニ對シテハ健診、保菌調査等ヲ施行濟
- 一、御大禮參列者宿舍アル場合ハ之ニ對シテハ健康診斷施行ノ筈
- 一、鹵簿御通過沿道三丁以内ニ行幸啓當時發生ノ麻疹、流行性感胃ニ關スル豫防措置ニ付テハ左記規定以外適當ニ考慮ノ筈

- 一、神武御陵ニ於ケル御料水ハ御持參ノ筈ナルモ爲念御陵及附近所在ノ井戸四箇ニツキ檢査施行濟
- 一、其他省略

檢病調査、法定傳染病、麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎及流行性腦炎患者早期發見並豫防措置

縣下ヲ第一、第二、第三ノ地域ニ區分ス

第一地域ニ在リテハ縣令ヲ發シ死體檢案ヲ行フ

檢病的戸口調査ヲ第一地域ニ對シテハ毎月二回(但シ十一月一日以降ハ四日目毎)第二地域ニ對シテハ毎月二回(但シ十一月ニ限リ三回)第三地域ニ對シテハ毎月一回施行ス

「チフテリア」以外ノ傳染病患者ハ特別ノ事由ナキ限リ隔離病舎ニ收容シ自宅療養ヲ許ササル様通牒ヲ發ス

奈良市高市郡及御通過鐵道沿線並其ノ附近市町村ニ對シ縣令ヲ發シ醫師ヲシテ麻疹、流行性感胃、流行性耳下腺炎、流行性腦炎患者死者ノ届出ヲ爲サシム

通牒ヲ以テ以上ノ患者、死者ニ對シテ豫防方法ヲ講セシム

愛知、三重、奈良、京都、ニ於ケル保菌衛生施設視察復命

昭和三年十月三十日

愛知縣

内務技師 松尾仁

水道名古屋市水道ハ今回行幸啓ニ際シ御料水並ニ離宮内ニ於ケル御使用水ト爲ルモノニシテ給水設備ニ就テハ缺クル所ナキモ水源ヲ木曾川ニ採ル關係上沿道開渠多ク萬一ヲ警戒スル要アルコトハ先般復命ニ及ヒタル所ナルカ其後縣市當局者合議ノ結果市當局ニ於テ行幸時ニ於テ特ニ警備スルコト、ナリ小官視察當時(二十日)ハ警備計畫確定ニハ至ラサリシモ導水渠ニ關シテハ、犬山、八田新田沈澱池間三ヶ所ノ出張所及五ヶ所ノ巡視詰所ノ外約五〇〇間隔ニ人夫二〇人ヲ配置(開渠總延長八、一六七間)ニ晝間ハ停立兩側ヲ監視シ夜間ハ分擔區間ヲ絶ヘス巡回セシメ更ニ之ヲ監視スルカ爲メニ巡視ヲ巡視セシムル方法ヲ採リ萬一ヲ警戒スル豫定ニシテ其ノ實施期間ハ取入口ヨリ取入レタル源水カ市内ニ配給セラル、ニ至ルハ約三日ヲ要スルカ故ニ行幸日三日前ヨリ之レヲ開始シ御出發當日迄前後五日間行フ豫定ナリ

配水管ニ對シテハ離宮ノ周圍ヲ廻ル配水幹線ヲ技術員及工夫ヲシテ行幸時中絶ヘス巡回セシメ破裂等ニ依ル給水ノ故障ノ萬一ニ備フル豫定ナリ

名古屋市尿管處分ニ就テハ海中投棄ヲ行フコトアルカ爲メ從來伊勢灣内漁業者ト屢々紛争ヲ醸シタルコトアリ

又伊勢灣産ノ魚介ハ京都ニ販路ヲ有スルカ故ニ御大禮當時ニ於テ問題ヲ惹起スルカ如キコトアルハ小官等ノ最モ恐ル、所ナルカ今年ハ幸ヒ汲取處分等順潮ニ進行シ大體下記ノ如キ數字ニテ處分實施セラレツ、アルヲ以テ荒天長時日連續スル等ノ場合ノ外ハ海中投棄ヲ行フ必要ナキカ故ニ支障ハ生セサルモノト認メラル

名古屋市内尿管尿量

四千六百九十石

内、農民直接汲取ノ分

市營ニ屬スル分

一二九〇石
三四〇〇石

處分方法 市營ニ屬スル部分中

自家肥料

四二石

水掃便所

一〇八石

下水ト共ニ處分スルモノ

一三〇石

自動車運搬配給

約 二九石

船運配給ノ分

三一七五石

内 愛農會請負

五〇〇石

市直接配給

二六七五石

市直營ニ屬スル船運配給先ハ三重縣沿岸一帯及知多半島トス

荒天時ニ於ケル一時貯溜設備ノ能力

御器所

二、〇〇〇石

堀留

一、五〇〇石

景雲橋

七〇〇石

鴨浦

三、〇〇〇石

矢隈

二、〇〇〇石

座埃焼却場内

七〇石

飲食物、飲食用器具取締ニ就テハ今夏來全力ヲ擧ケテ從事シツ、アリ検査件數本春來約一萬件ニ達シ平時ノ倍數以上ニ達ス其ノ成績ハ概ネ良好ナリ

三 重 縣

御大禮關係衛生施設飲料水ノ検査ハ宇治山田市及隣接町村ハ既ニ之ヲ終リ十月二十日ヨリ六日間不良井ノ所有者ヲ集メ改善要綱ヲ設示シ且ツ質問ニ應シ改善方法ヲ教示セリ

飲食物及飲食用器具並ニ飲食店其ノ他ノ特種營業者ノ検査成績ハ比較的良好ナリ

奈 良 縣

御大禮關係ノ施設行幸地附近ノ水質検査ハ九月中旬之レヲ終リ其ノ不良ナルモノニ對シテハパンプレットヲ配布改善方法ヲ指示スル準備中ナリ

飲食物及飲食用器具ノ取締成績モ例年ノ約倍數ヲ行ヒ其ノ成績ハ比較的良好ナルモ清酒中フォルマリシンヲ發見シタルモノ多シ飲食店其ノ他ノ營業者ノ検査ハ既ニ平坦部ハ全部一回ノ検査ヲ終リタルモ引キ續キ十一月初旬ヨリ之レヲ繰リ返ヘスヘキ豫定ナリ

京 都 府

京都御所内ノ使用水ハ第二疏水ヲ源水トスル蹴上淨水場ヨリ引水スルモノニシテ現在六吋管三本ヲ引キ込ミアリ外ニ松ヶ崎淨水場ヨリ給水スル火防用水四吋管一本アリ

而シテ此ノ際給水上特ニ留意ヲ要スヘキ點ハ不時ノ給水管ノ破裂等ニ因ル故障及ポンプ運轉用ノ電力ノ故障ノ防止並ニ源水水路ノ安全ヲ期スル點ナリ

電力ノ故障防止ノ手段トシテハ蹴上淨水場ポンプ運轉用ノ電線ハ從來ノ架空線ノ外新ニ地下線ヲ布設シタルヲ以テ線路ニヨル故障ハ大體之レナカルヘキモ發電所ニ對シテハ豫備火力發電所ニ於テ絶ヘス點火シ置キ萬一ノ場合直チニ發電シ得ル様準備スルノ外他ヨリ買電セル電車用ノ動力線ヲ切り換フル等ノ處置ヲ採ル筈ナリ

配水管ノ故障ハ蹴上線ハ上述ノ如ク配水管三本ヲ引キ込メルヲ以テ同時ニ全部ノ故障起ルコト等ハ萬ナカルベキヲ以テ大體差支ヘ無キモ蹴上淨水場ノ故障等萬一ノ場合ニ於テハ松ヶ崎系統ノ配水管ヲ連結セル「バルブ」ヲ開キ給水ニ支障ヲ生セシメサ